

専門知識の習得を

ICT土工技術講習会

建設技術C

県建設技術センターはこのほど、各自治体とオンラインで結び「2020年度ICT土工に関する技術講習会」を開いた。講師は4人が務め、それぞれ現場紹介やRTKを用いた測量技術の解説などを実施。今後の社会資本整備に向け、専門知識の習得を図った。

県市町村の職員を対象とした講習会は、円滑な業務運営を目的としている。講師は、第一工業大学の田中龍児教授と梅木時文社長（梅コンサル）らが務め、RTKを使用した測量等を解説したほか、堅野友康氏（林建設）

は、ICT技術を用いた土工現場を紹介した。

その中で堅野氏は、工事概要をはじめ、UAV

測量や施工履歴データを用いた出来高管理などを採用した流れを説明。使用機器や現場の過程・結果を写真やグラフで見せ、活用した結果を「正確な測量や経費削減、工程短縮につながり、作業を効率化できた。施工の見え

る化により、安全性がより向上した」と述べた。

このほか、国土交通省九州地方整備局の伴和美氏が「ICT施工の仕組みと生産性や品質の向上、作業・検査の合理化」と題して講話した。

